

事業番号	284
------	-----

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	小牧市公共下水道台帳作成事業						担当部	上下水道部		
	会計区分	下水道事業特別会計			事業類型	法定受託系	担当課	下水道課			
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	建設係		
	総合計画 分野別計画	主目的	5 都市基盤		25 汚水・排水処理		1 公共下水道を普及促進する				
		副目的	25-2		25-3		25-4				
	予算区分	款	1	項	1	目	1	大	2	中	2
	根拠法令・個別計画	下水道法23条に規定。国土交通省令									
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	汚水管の維持管理の基礎データとするため、台帳を作成及び修正するとともに、接続しようとする利用者に、その所在を明らかにする。									
	内容 (手段)	<p>◆24年度実施内容 宅地への接続取付管位置の管理と使用宅地の分別が判断できるように排水設備記録を蓄積している。 管路を拡張整備した箇所、認可区域を追録、更新した。</p> <p>◆24年度直接経費の内訳(一般管理費) 公共下水道台帳委託料:11,899千円</p> <p>【その他財源の内容】 下水道使用料</p> <p>◆25年度直接経費の内訳 公共下水道台帳委託料:13,000千円</p> <p>【その他財源の内容】 下水道使用料</p>									
	受益者負担	無									

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	12,241	12,195	11,899	13,000	
		正職員	従事者数	人	0.40	0.40	0.40	0.40
			人件費	千円	2,132	2,132	2,132	2,132
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計		千円	14,373	14,327	14,031	15,132	
対前年比		%		99.6	97.9	107.8		
財源	一般財源	千円	1,059	1,067	771	2,132		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	13,314	13,260	13,260	13,000		

業 績	活動指標名		単位	H22	H23	H24	H25
	下水道台帳の修正	km	目標	17	20	20	17
			実績	17	20	15	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
	成果指標名		単位	H22	H23	H24	H25
下水道台帳の修正	km	目標	17	20	20	15	
		実績	17	20	15		
		目標					
		実績					

事業の自己評価	平成24年度の実施結果	
	事業の達成状況	新規データ更新をする前に、既存データの再確認を実施し精度向上をさせた後、新規データ追加、更新を実施した。データ更新と同時にデータの精度向上に努めた。
	事業実施における課題	現在使用の地図情報システム(GIS)の更新が必要である。システムのOS(WinXP)のサポート終了により新たなOSに変更する必要がある。OS変更に伴うGISソフトを更新または変更する必要がある。更新→変換ソフトを委託する必要があるが、旧GISシステムであるので変換できない可能性がある。変更→新OSのGISソフトにかえる場合は、ほとんど新システム導入であり多大な予算が必要である。今年度中に方針決定する予定である。
	事業を縮小・廃止したときの影響	データベース管理から紙ベース管理となり、管理事務、書籍の増大、迅速なデータ検索ができないなど、管理不備が発生し市民サービスの支障となる。 下水道法第23条:国土交通省令
	平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等) 事業認可区域と負担区域の表示をより判りやすく修正しデータ化した。 将来のシステム更新について検討し、問題点を洗い出した。
	平成26年度の事業の方向性	方向性の判定 維持 事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
	判定理由	平成25年3月31日現在、普及率70.1%となっており、管路維持管理と同時に普及率100%に向けて新設管路を施工しデータ更新をしている状況であるため、事業縮小、廃止は考えられない。
	26年度以降の改善案	OSのサポート停止及び旧スペックパソコンのため、ハード変更も含めたGISシステムの再構築をする。

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。